

## 2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年4月14日

上場会社名 プリントネット株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7805 URL https://printnet.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小田原 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 小田原 一誠 TEL 050-3734-6495  
 半期報告書提出予定日 2025年4月14日 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	4,497	△5.5	252	36.2	253	33.4	232	300.4
2024年8月期中間期	4,757	2.5	185	△42.8	190	△41.2	58	△71.1

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	48.13	-
2024年8月期中間期	12.03	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	7,378	4,022	54.4
2024年8月期	7,166	3,784	52.7

(参考) 自己資本 2025年8月期中間期 4,015百万円 2024年8月期 3,778百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	-	0.00	-	13.00	13.00
2025年8月期	-	0.00			
2025年8月期（予想）			-	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,402	1.0	516	15.2	522	14.6	318	51.5	65.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年8月期中間期	5,460,400株	2024年8月期	5,460,400株
2025年8月期中間期	625,154株	2024年8月期	628,454株
2025年8月期中間期	4,832,857株	2024年8月期中間期	4,829,792株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (経営成績の状況)

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境が改善するなかで、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されているものの、海外景気の下振れや金融資本市場の変動といったリスクが、我が国の景気を下押しする可能性もあり、先行きには不透明な要素が残っております。印刷事業におきましては、従来の印刷事業は縮小傾向にあるものの、当社の主たる事業であるネット印刷通信販売事業に関しましては、印刷業者のファブレス経営の増加やネット注文の利便性向上を背景にさらなる成長の可能性が広がっております。

当社の当中間会計期間における売上高は4,497,981千円となり前年同期累計期間比(以下、「前年同期比」)259,998千円の減収、営業利益は252,784千円で前年同期比67,200千円の増益、経常利益は253,850千円で前年同期比63,560千円の増益、中間純利益は232,612千円で前年同期比174,513千円の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① ネット印刷通信販売事業

ネット印刷通信販売事業の業績は以下のとおりであります。

	前事業年度 第2四半期(中間期)	当事業年度 第2四半期(中間期)	増減
印刷売上高合計	4,676,884千円	4,440,466千円	△236,418千円
(内訳) 大口得意先	1,793,807千円	1,339,986千円	△453,820千円
大口以外の得意先	2,883,077千円	3,100,479千円	217,402千円
新規獲得数	6,986社	6,532社	△454社
新規獲得数における広告費(1社当たり)	4,652円	6,482円	1,830円

ネット印刷通信販売事業におきましては、前事業年度第2四半期に比べ大口以外の得意先の印刷売上高は増加しているものの、売上高より利益率を重視する方針に転換したため、大口得意先の印刷売上高が減少しており、結果として印刷売上高は減少となっております。利益率については前年に比べ大きく改善しました。

このような状況のもと、当社は強みをさらに伸ばすため、下記3項目に関して全社的な取り組みを進めております。

- ・生産性向上：プロセスの効率化、自動化の推進、従業員のスキル向上を通じて、コスト削減に取り組む。
- ・環境への配慮：環境にやさしい印刷材料とテクノロジーの採用を検討し、環境に配慮した選択肢を提供する。
- ・価格と品質の維持：顧客ニーズに合わせた柔軟な価格戦略を構築し、品質管理プロセスの強化に努める。

また、事業戦略本部を中心に、マーケティング及びWEBサイト周辺の機能強化を図るとともに、IR活動も強化し、地元プロスポーツチームとスポンサー契約を締結する等、地域貢献にも注力し、企業イメージの向上や株価の安定化を目指しております。

なお、当中間会計期間末時点で稼働している大型オフセット印刷機は、前事業年度末と変わらず合計9台となっております。

この結果、売上高は4,445,307千円で前年同期比240,622千円の減収、セグメント利益は345,107千円で前年同期比86,492千円の増益となっております。

#### ② その他の事業

その他の事業の売上高は52,674千円で前年同期比19,376千円の減収、セグメント利益は1,379千円(前年同期は4,364千円の損失)です。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間会計期間末における流動資産合計は、前事業年度末に比べ465,147千円増加し、3,222,617千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が317,623千円増加したこと等によるものです。

当中間会計期間末における固定資産合計は、前事業年度末に比べ253,276千円減少し、4,156,184千円となりました。その主な要因は、有形固定資産が113,680千円減少したこと、投資その他の資産が136,626千円減少したこと等によるものです。

この結果、当中間会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べ211,870千円増加し、7,378,801千円となりました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債合計は、前事業年度末に比べ117,981千円増加し、2,364,270千円となりました。その主な要因は、買掛金が140,433千円増加したこと等によるものです。

当中間会計期間末における固定負債合計は、前事業年度末に比べ143,891千円減少し、992,299千円となりました。その主な要因は、長期借入金が152,357千円減少したこと等によるものです。

この結果、当中間会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べ25,909千円減少し、3,356,569千円となりました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ237,780千円増加し、4,022,231千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が232,612千円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は54.4%となり、前事業年度末に比べ1.7ポイント増加しました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ317,623千円増加し、1,318,686千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、483,584千円(前年同期は257,459千円の収入)となりました。これは主に、税引前中間純利益365,873千円、減価償却費245,516千円の計上といった増加要因及び棚卸資産の増加による支出111,856千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、163,671千円(前年同期は169,056千円の支出)となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入235,730千円、事業譲渡による収入11,539千円といった増加要因及び有形固定資産の取得による支出82,579千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、329,633千円(前年同期は169,492千円の支出)となりました。これは主に、短期借入金による収入1,100,000千円及び短期借入金の返済による支出1,129,000千円、長期借入金の返済による支出337,821千円等によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、不安定な国際情勢や円安等による原材料価格の動向等、依然として不透明な状況が続くものと予測されますが、現時点において2025年8月期の通期業績予想につきましては、2024年10月11日公表の業績予想から変更はありません。

今後業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当中間会計期間 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,001,063	1,318,686
受取手形及び売掛金	636,853	670,855
商品及び製品	10,557	9,916
仕掛品	30,487	17,346
原材料及び貯蔵品	827,426	953,064
その他	251,721	253,421
貸倒引当金	△638	△673
流動資産合計	2,757,469	3,222,617
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	886,641	859,989
機械及び装置(純額)	1,593,670	1,499,656
土地	1,240,504	1,240,504
その他(純額)	152,361	159,347
有形固定資産合計	3,873,178	3,759,498
無形固定資産	159,842	156,872
投資その他の資産		
投資その他の資産	386,186	250,113
貸倒引当金	△9,746	△10,299
投資その他の資産合計	376,440	239,813
固定資産合計	4,409,460	4,156,184
資産合計	7,166,930	7,378,801
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	629,419	769,852
短期借入金	465,000	436,000
1年内返済予定の長期借入金	601,711	516,247
未払法人税等	40,741	136,764
賞与引当金	59,563	59,562
その他	449,854	445,844
流動負債合計	2,246,289	2,364,270
固定負債		
長期借入金	755,174	602,817
ポイント引当金	6,729	7,273
退職給付引当金	126,975	134,052
長期末払金	200,304	200,304
その他	47,007	47,851
固定負債合計	1,136,190	992,299
負債合計	3,382,479	3,356,569
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	815,722	815,722
資本剰余金	797,906	797,976
利益剰余金	2,510,645	2,743,258
自己株式	△361,314	△359,417
株主資本合計	3,762,960	3,997,539
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,161	18,362
評価・換算差額等合計	15,161	18,362
新株予約権	6,330	6,330
純資産合計	3,784,451	4,022,231
負債純資産合計	7,166,930	7,378,801

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	4,757,980	4,497,981
売上原価	3,780,557	3,493,833
売上総利益	977,422	1,004,147
販売費及び一般管理費	791,838	751,363
営業利益	185,584	252,784
営業外収益		
受取利息	66	540
受取配当金	933	1,244
受取賃貸料	5,170	5,040
受取補償金	2,183	—
その他	1,712	988
営業外収益合計	10,066	7,813
営業外費用		
支払利息	4,307	4,837
賃貸費用	918	1,711
支払手数料	93	73
その他	41	126
営業外費用合計	5,361	6,748
経常利益	190,289	253,850
特別利益		
固定資産売却益	263	—
保険解約返戻金	—	105,080
事業譲渡益	—	6,942
特別利益合計	263	112,023
特別損失		
減損損失	84,682	—
固定資産除却損	1,613	0
特別損失合計	86,296	0
税引前中間純利益	104,256	365,873
法人税、住民税及び事業税	68,123	123,811
法人税等調整額	△21,965	9,450
法人税等合計	46,157	133,261
中間純利益	58,099	232,612

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	104,256	365,873
減価償却費	252,801	245,516
減損損失	84,682	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△201	587
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△1
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,994	544
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,285	7,077
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,745	—
受取利息及び受取配当金	△999	△1,784
支払利息	4,307	4,837
固定資産売却益	△263	—
保険解約返戻金	—	△105,080
固定資産除却損	1,613	0
事業譲渡損益(△は益)	—	△6,942
売上債権の増減額(△は増加)	23,209	△40,028
棚卸資産の増減額(△は増加)	△18,647	△111,856
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,505	140,433
前受金の増減額(△は減少)	3,459	1,708
未払金の増減額(△は減少)	9,407	26,859
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,099	16,488
その他	△23,630	△30,126
小計	395,936	514,104
利息及び配当金の受取額	998	1,784
利息の支払額	△3,848	△4,942
法人税等の支払額	△135,627	△30,557
法人税等の還付額	—	3,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,459	483,584
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△140,282	△82,579
有形固定資産の売却による収入	3,624	—
無形固定資産の取得による支出	△16,549	△3,744
事業譲渡による収入	—	11,539
敷金及び保証金の回収による収入	—	3,698
保険積立金の解約による収入	—	235,730
保険積立金の積立による支出	△14,416	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△558	△115
その他	△874	△858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△169,056	163,671
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	495,000	1,100,000
短期借入金の返済による支出	△668,580	△1,129,000
長期借入れによる収入	357,160	100,000
長期借入金の返済による支出	△295,166	△337,821
配当金の支払額	△57,902	△62,812
自己株式の取得による支出	△3	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,492	△329,633
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△81,089	317,623
現金及び現金同等物の期首残高	1,039,208	1,001,063
現金及び現金同等物の中間期末残高	958,118	1,318,686



(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

単位(千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間損益 計算書計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	4,676,884	4,676,884	—	4,676,884	—	4,676,884
資材売上高	7,039	7,039	—	7,039	—	7,039
その他売上高	2,005	2,005	72,050	74,056	—	74,056
顧客との契約から生じ る利益	4,685,929	4,685,929	72,050	4,757,980	—	4,757,980
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,685,929	4,685,929	72,050	4,757,980	—	4,757,980
	—	—	—	—	—	—
計	4,685,929	4,685,929	72,050	4,757,980	—	4,757,980
セグメント利益又は損失 (△)	258,615	258,615	△4,364	254,250	△68,666	185,584

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△68,666千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。

3. セグメント利益又は損失は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」(飲食事業等)に関連するのれんについて減損しております。当中間会計期間における当該減損損失の計上額は68,691千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

単位(千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間損益 計算書計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	4,440,466	4,440,466	—	4,440,466	—	4,440,466
資材売上高	1,085	1,085	—	1,085	—	1,085
その他売上高	3,755	3,755	52,674	56,430	—	56,430
顧客との契約から生じ る利益	4,445,307	4,445,307	52,674	4,497,981	—	4,497,981
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,445,307	4,445,307	52,674	4,497,981	—	4,497,981
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,445,307	4,445,307	52,674	4,497,981	—	4,497,981
セグメント利益	345,107	345,107	1,379	346,486	△93,702	252,784

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、薬局事業等です。

2. セグメント利益の調整額△93,702千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。

3. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。